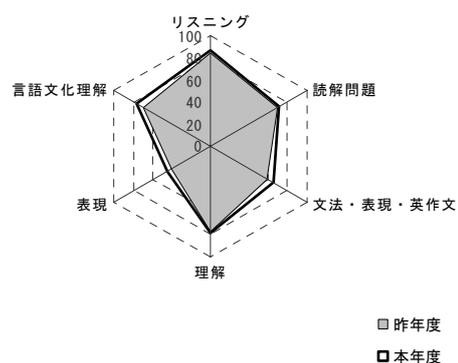


1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（平成19年度と18年度の状況）

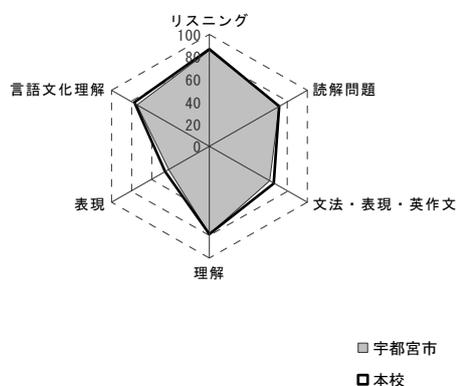


■平均正答率

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	リスニング	86.7	84.2
	読解問題	71.3	70.1
	文法・表現・英作文	65.3	59.4
観点別			
	理解	78.3	76.5
	表現	44.9	41.1
	言語文化理解	77.0	69.9

受検人数	本年度	昨年度
	54人	84人

(2) 領域別・観点別平均正答率 (宇都宮市と本校の状況)



■平均正答率

		宇都宮市	本校
領域別	リスニング	86.0	86.7
	読解問題	71.8	71.3
	文法・表現・英作文	62.4	65.3
観点別			
	理解	78.2	78.3
	表現	41.5	44.9
	言語文化理解	74.4	77.0

受検人数	宇都宮市	本校
	3983 人	54 人

昨年度に較べ全ての領域及び観点で平均正答率が上がった。しかし、読解問題においては、市の平均を下回っている。観点別に見ても、表現力が極端に劣っており、語彙力及び文法に力点を置き、英作文に力を入れていきたい。

2 指導の工夫・改善

領 域	平成19年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	昨年同様平均正答率が80%を上回り、英語を聞いて理解する力は十分発達している。ただし疑問詞が主語になる疑問文の答え方が不十分である。	英語による授業展開を継続し、英語を聞いて内容を理解し、応答できる力を養いたい。疑問詞が主語になった疑問文を使って身近な事柄が応答できるようにしたい。
読解問題	対話文の空所選択は昨年度よりも正答率が飛躍的にアップしている。しかし対話の内容把握は、英問英答になると文法的な理解不足が起因してミスが多い。	内容把握のために、速読による概要把握と英問英答を語句レベルから文章レベルで答える指導を徹底していきたい。また、会話独特の表現を自然な流れの中で運用できるようにさせたい。
文法・表現・英作文	表現のための文法知識が不足しているため、並べ替え英作文では対応できても、英作文になるとミスが多い。時制や語順といった重要なポイントの理解が徹底できていない。	英語による情報伝達に必要な基礎的、基本的文法事項の復習を十分に行いたい。また既習事項を用いた自己表現活動を取り入れ、知識理解を相手に伝わる表現活動に生かせるようにしていきたい。